



IUGG2003 (札幌) の参加について

(1) IUGG2003総会 (札幌) の研究発表申し込み締め切り近し

2003年6月30日～7月11日の間、札幌にて開催されるIUGG総会では、地球物理学関連諸学会(協会)がそれぞれの分野の研究発表の場を設けると同時に、複数の学会(協会)が共催して共通話題のシンポジウムを予定するなど、多くの最新の成果が交流します。詳細については、IUGG関連のホームページ <http://www.jamstec.go.jp/jamstec-e/iugg/> を見て下さい。なお、天気9月号に関連記事が載っています。総会で研究発表を希望する人は、テーマ世話人(コンヴィナー)にメール等で申し込む手続きが必要です。

但し、その申し込みには発表内容のアブストラクトを提出することが必要です。提出したアブストラクトは、各コンヴィナーがテーマに相応しいプログラムを編集するために利用され、総会プログラム冊子等に公表されます。

日本気象学会の会員には、日頃の研究成果を積極的に発表されますよう、強くお勧めします。

発表要旨の提出期限：2003年1月30日 (e-mail)
1月20日 (郵送)

(2) 先ず、IDを取得しよう

今回のIUGG総会の受け付け方法の一つの特徴でもある登録番号制(ID)について説明します。これは、毎年春に行われている地球惑星科学関連学会合同大会の方法にならったものですが、今回のIUGG総会に関わる人は、研究発表するしないにかかわらず、先ずは、IDを取得する必要があります。例えば、研究発表者や

登録者の情報は、このIDによって情報整理が行われます。そのため、IDは、何か具体的な問い合わせなどを総会事務局などにする場合にも必要になります。

<ID取得は無料、IUGG2003に関心のある人は全て、今すぐホームページから>

(3) IUGG 総会参加の登録料について

すでに公表されていますが、参加登録料は、支払い期日により金額が変わりますが、主な例だけを示しますと、一般参加者については、

2003年4月1日～5月31日通常登録期間：50,000円
3月31日まで早割り引き：42,000円
6月1日以後、会期中まで：55,000円
ところで、参加登録料を公費で支出可能な人は、な

るべく公費で参加されますようお勧めします。なお、公費として、例えば、科研費、委任経理金、受託研究費などは支出可能ですが、校費も可能かどうかは不明です。所属組織によって事情が異なる場合もあると思われしますので、それぞれ確認して下さい。

<来年度の予算交付がある人は、参加登録料の予算化を念頭に>